

上級者☆問題

1. 次の文章の中で、本文の内容と同じものを選びなさい。

- A) 村上春樹が長編小説を発表するのは久しぶりだが、デビュー当時から読み続けている固定ファンだけでは15万部は売れそうもない。
- B) 発表前に明らかにされたあらすじによると、15歳の主人公の少年と老人はバスで猫を探しに行くらしい。
- C) 最近、社会問題にも関心を寄せている村上春樹は、これまでも地下鉄サリン事件と阪神大震災を題材に小説を書いたことがある。
- D) 『海辺のカフカ』が15万部以上売れるのは間違いない。

2. 出版社が行った宣伝方法で、本文の内容と違うものを次の中から選びなさい。

- A) 出版社は、情報をあまり流さなかったので、村上春樹の新作の内容を読者はあまり知ることができなかった。
- B) 7月から8月に新潮社の本を買った読者は、9月に村上春樹の長編小説が出ることを知らされた。
- C) 『海辺のカフカ』の内容をチラシやインターネットで知らせることで、読者に期待感を持たせた。
- D) より多くの読者を獲得するために出版社は、『海辺のカフカ』を読んだ読者の質問にはホームページ上で村上春樹自身が答えてくれると読者に伝えた。

3. 『海辺のカフカ』の説明として、正しいものを次の中から選びなさい。

- A) 『海辺のカフカ』は、出版社の宣伝戦略が成功し、書店での毎月の販売も好調である。
- B) 『海辺のカフカ』は、ギリシャ悲劇『オイディプス王』を下敷きにし、父親殺しや近親相姦をテーマにした、村上版『オイディプス王』である。
- C) 『海辺のカフカ』で「15歳」がキーワードになったのは、増えつづける凶悪な日本の少年犯罪に対する著者自身の意見や、現代の少年たちへのはげましのメッセージを伝えるためのようである。
- D) 『海辺のカフカ』に内容に関する情報は限られており、読者に知らされているのはいくつかのキーワードだけである。